

東京大学経済学図書館所蔵資料のデジタルデータについて

- (1) この画像データは、東京大学経済学図書館が所蔵する資料のうち、有価証券報告書をデジタル撮影したものです。
- (2) 利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化により、一部、文字の写りが悪いものを含んでいます。また、一部、オンライン公開に適さないと判断し、墨消処理した部分があります。
- (5) この画像データに関する質問等は東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

有価証券報告書

事業年度
(第 43 期)

自 昭和 35 年 12 月 1 日
至 昭和 36 年 11 月 30 日

大 蔵 大 臣 殿

昭和 37 年 2 月 28 日提出

会 社 名 養命酒製造株式会社

英 訳 名 Yomeishu Seizo Co., Ltd.

代表者の役職氏名 代表取締役 塩 沢 総Ⓢ

本店の所在の場所 東京都渋谷区上通 4-37

電 話 番 号 (461) 5235~9

連 絡 者 石 橋 孝 治

もよりの連絡場所 東京都渋谷区上通 4-37 養命酒製造株式会社

電 話 番 号 (461) 5235~9

連 絡 者 石 橋 孝 治

公認会計士の監査証明

氏 名 片 岡 明 幸

監査証明に関する事項

証券取引法第 193 条の 2 による財務書類の監査を受けその報告書は 17 頁に添付してある。

有価証券報告書の写を縦覧に供すべき支店及び証券取引所

名 称	所 在 地
養命酒製造株式会社本店	東京都渋谷区上通 4-37
養命酒製造株式会社第 2 工場	長野県岡谷市川岸 1,960
東 京 証 券 取 引 所	東京都中央区日本橋兜町 1-6
名 古 屋 証 券 取 引 所	名古屋市中区南伊勢町 1-3

有価証券報告書について

- 1 ここに収録されているものは、証券取引法第24条の規定によつて有価証券の発行会社から事業年度ごとに大蔵大臣に提出され、同法第25条の規定によつて大蔵省に備えおかれ、公衆の縦覧に供される報告書(有価証券報告書)の内容であります。
- 2 報告書を公衆の縦覧に供する目的は、企業の安全性や収益性など、企業全体についての評価を正しく行なうための資料を提供し、もつて公衆の利益を擁護し、健全な投資者を保護するにあります。
- 3 報告書を正しく活用するには、多くの事項を関連せしめて総合的に観察し、また、相当長期にわたる企業の趨勢を理解することが重要であります。
- 4 報告書の記載事項については、一定の様式や記載方法が定められているものが多く、特に財務諸表については、企業会計原則を規範として制定された「財務諸表規則」によつて、かなり細部の表示方法が規制されています。

これによつて表示の比較性が失われないように留意されていますが、性質上すべての事項について統一ある処理がなされているとはいへませんので、注意を要します。

- 5 報告書の本文は、第1「会社の概況」、第2「事業の内容と設備の状況」、第3「営業の状況」、第4「経理の状況」、の順序で記載されています。
- 6 報告書の勘定科目や数字が会社の営業報告書に記載されているものと異なる場合がありますが、これは「財務諸表規則」によつて勘定科目などに組替えが行なわれているためです。

特に、当期純損益の額と繰越利益剰余金の額が、営業報告書におけるものと相異なる場合が多いと思われますが、これは、損益計算書について、いわゆる当期業績主義による表示方法が採られているためです。

当期業績主義とは、例えば、過去の事業年度にすでに売上として計上したものについて発生した値引額等について、損益計算書の損益項目として計上しないで、繰越利益剰余金の減少高として計上する方法です。

財務諸表中の剰余金計算書は、このような計算の過程を表示するためのものですから、この書類では、剰余金計算書の記載事項についても注意を要します。

以上のような特殊な事項や営業報告書等の記載との相違などについて注意すべき点は、しばしば、財務諸表の脚注事項として説明が付されていますので、財務諸表の観察に当つては、脚注事項についても注意を要します。

- 7 銀行、信託会社、保険会社等の限られた業種を除いて、資本金1億円以上の会社の財務諸表には、上記2.の目的を一層充実させるために、すべて公認会計士の監査報告書が付されておりますので、この監査報告書を財務諸表と参照して有効に利用されることが必要です。
- 8 監査報告書は、有価証券報告書の末尾に添付されておりますが、本書においては、読者の便宜を計り、第4「経理の状況」の冒頭に挿入してあります。

第 1 会 社 の 概 況

(1) 会社の設立年月日 大正 12 年 6 月 20 日
(設立登記年月日 大正 12 年 6 月 26 日)

(2) 会 社 の 目 的

- 1 養命酒及びその他の酒類の製造販売
- 2 日本薬局方外医薬品の製造販売
- 3 ぶどう糖の製造販売
- 4 前各号の製品、原料品並びに医薬品の輸出入
- 5 前各号に付随し又は関連する業務

(3) 資 本 の 額 368,280 千円

(4) 株 式

発行予定株式総数 16,000,000 株 発行済株式総数 7,365,600 株

発行済株式

記名, 無記名の別及び額面, 無額面の別	種 類	発 行 数	券 面 額	上場証券取引所名	摘 要
記名式額面株式	普 通 株	7,365,600 株	50 円	東 京証券取引所 名古屋証券取引所	
計		7,365,600 株			

(5) 株 式 の 状 況

所有者別及び所有数別状況

平均 1 人当持株数 1,984 株

所 有 者 別

(昭和 36 年 11 月 30 日)

区 分	政府及び 公共団体	金融機関	証券業者	そ の 他 の 人	外 国 人	そ の 他	合 計
株 主 数	人 1	人 12	人 46	人 174	人 4	人 3,475	人 3,171
所有株式数(イ)	株 910,331	株 218,335	株 2,155,883	株 11,000	株 4,070,051	株 7,365,600	株 7,365,600
発行済株式総数に対する(イ)の割合	% 12.36	% 2.96	% 29.27	% 0.15	% 55.26	% 100.00	% 100.00

所 有 数 別

区 分	100,000株以上	50,000株以上	10,000株以上	5,000株以上	1,000株以上
株 主 数(ロ)	人 8	人 9	人 60	人 57	人 988
所有株式数(ハ)	株 2,800,768	株 627,061	株 1,304,353	株 384,761	株 1,360,613
株主総数に対する(ロ)の割合	% 0.22	% 0.24	% 1.62	% 1.54	% 26.62
発行済株式総数に対する(ハ)の割合	% 38.02	% 8.51	% 17.71	% 5.22	% 18.47

区 分	500株以上	100株以上	100株未満	合 計
株 主 数(ロ)	人 1,246	人 808	人 535	人 3,711
所有株式数(ハ)	株 684,634	株 183,052	株 20,358	株 7,365,600
株主総数に対する(ロ)の割合	% 33.57	% 21.77	% 14.42	% 100.00
発行済株式総数に対する(ハ)の割合	% 9.30	% 2.49	% 0.28	% 100.00

地域的分布状況

都 府 道 県	株主数	株主総数 に対する 割合	株 式 数	発行済株式 総数に対する 割合	都 府 道 県	株主数	株主総数 に対する 割合	株 式 数	発行済株式 総数に対する 割合
北海道	人 60	% 1.62	株 44,706	% 0.61	秋 田	人 15	% 0.40	株 8,582	% 0.12
青 森	人 4	% 0.10	株 2,059	% 0.03	山 形	人 26	% 0.70	株 14,340	% 0.19
岩 手	人 10	% 0.27	株 9,335	% 0.13	宮 城	人 16	% 0.43	株 11,091	% 0.15

都府道県	株主数	株主総数に対する割合	株式数	発行済株式総数に対する割合	都府道県	株主数	株主総数に対する割合	株式数	発行済株式総数に対する割合
福島	25	0.67	11,331	0.15	和歌山	23	0.62	14,790	0.20
群馬	53	1.43	30,142	0.41	大阪	74	1.99	196,507	2.67
栃木	40	1.08	21,659	0.29	兵庫	48	1.29	30,304	0.41
茨城	77	2.07	47,478	0.64	鳥取	2	0.05	776	0.01
埼玉	154	4.15	189,791	2.58	岡山	23	0.62	17,964	0.24
東京	1,132	30.55	4,989,485	67.74	広島	26	0.70	19,910	0.27
千葉	113	3.05	77,276	1.05	島根	5	0.13	2,253	0.03
神奈川	156	4.20	93,273	1.27	山口	26	0.70	11,108	0.15
山梨	22	0.59	16,129	0.22	香川	15	0.40	9,236	0.13
新潟	94	2.53	35,102	0.48	徳島	11	0.30	12,116	0.16
富山	48	1.29	23,617	0.32	高知	19	0.51	13,576	0.18
岐阜	80	2.16	51,948	0.71	愛媛	19	0.51	11,950	0.16
長野	566	15.25	913,348	12.40	福岡	55	1.48	51,737	0.70
静岡	154	4.15	78,511	1.07	佐賀	8	0.22	3,805	0.05
愛知	272	7.33	128,491	1.74	長崎	14	0.38	10,417	0.14
三重	55	1.48	33,916	0.46	熊本	20	0.54	14,836	0.20
石川	39	1.05	17,408	0.24	大分	10	0.27	6,560	0.09
福井	4	0.10	2,084	0.03	宮崎	3	0.08	2,530	0.03
滋賀	15	0.40	8,690	0.12	鹿児島	11	0.30	7,586	0.10
京都	57	1.54	51,867	0.71	外国	4	0.10	11,000	0.15
奈良	8	0.22	4,983	0.07	合 計	3,711	100.00	7,365,600	100.00

大株主

(昭和36年11月30日現在)

氏名又は名称	住 所	所有株式の額面、無額面の別、種類及び数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
株式会社飛龍会	東京都渋谷区上通り4の37	額面普通株式 1,830,900	24.85
三菱信託銀行株式会社	〃 千代田区丸の内1の2	〃 232,256	3.15
住友海上火災保険株式会社	〃 中央区八重洲2の1	〃 154,472	2.09
塩 沢 護		〃 140,780	1.91
宮 下 武 志		〃 136,000	1.85
株式会社埼玉銀行	埼玉県浦和市高砂町2の162	〃 103,180	1.40
日本団体生命保険(株)	東京都千代田区丸の内1の2	〃 103,180	1.40
大井証券株式会社	大阪府大阪市東区北浜3の3	〃 100,000	1.36
塩 沢 総		〃 94,550	1.28
塩 沢 正 治		〃 89,040	1.21
合 計		〃 2,984,358	40.50

備 考

〔定款規定の新株引受権の内容〕 取締役会の決議を以て当会社の株主に新株引受権を与えることができる。

〔決算期〕 11月30日

〔定時株主総会〕 1月中

〔株主名簿閉鎖の始期〕 12月1日

〔基準日〕 ない

〔株券の種類〕 1株券、10株券、50株券、100株券、

〔最近6箇月間の月別最高最低株価〕

500株券、1,000株券

〔株券に関する手数料〕 名義書換 無料、新券交付 1枚につき20円

〔株主名義書換〕 取扱所東京都渋谷区上通4-37養命酒製造株式会社 株式課、取次所 養命酒製造株式会社支店及び工場

〔株主に対する特典〕 なし

〔公告掲載新聞名〕 日本経済新聞

銘 柄	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
養命酒製造株式	円 318	円 348	円 335	円 284	円 274	円 270
株 式 会 社	最 高					
株	最 低					

[最近3事業年度の配当額]

回次	決算年月	1株の配当額	回次	決算年月	1株の配当額	回次	決算年月	1株の配当額
41回	34.11.30	7円	42回	35.11.30	8円	43回	36.11.30	9円

注 (1) 株価は東京証券取引所に於ける上場相場である。

(6) 役員略歴及び所有株式

(昭和37年2月28日)

役名及び職名	氏名 (生年月日及び住所)	略歴	所有株式の額面、無額面の別、種類及び数
代表取締役 会長	加藤 清 隆 (明治31年12月10日生) [住所隠蔽]	大正10年3月専修大学経済学部卒業、4月株式会社三菱銀行入社、昭和2年3月三菱信託銀行株式会社入社、24年5月同行取締役就任、31年11月同行常務取締役就任、35年1月養命酒製造株式会社取締役会長就任	額面普通株式 3,000株
代表取締役 社長	塩 沢 総 (明治44年1月1日生) [住所隠蔽]	昭和8年3月東京帝国大学文学部英文科卒業、家事に従事、13年1月株式会社天龍館取締役就任、27年3月養命酒製造株式会社代表取締役就任	〃 94,550
常務取締役	野 原 光 雄 (明治42年5月27日生) [住所隠蔽]	大正13年3月長野県上伊那郡片桐高等小学校卒業、昭和元年12月株式会社天龍館入社、23年1月同社取締役就任、26年12月養命酒製造株式会社取締役就任、27年3月同辞任、同監査役就任、28年6月同辞任、同取締役就任	〃 46,526
常務取締役	上 沢 忠 司 (明治44年10月25日生) [住所隠蔽]	昭和2年3月長野県上伊那郡南向高等小学校卒業、3年12月株式会社天龍館入社、23年1月同社取締役就任、26年3月同辞任、天龍酒造株式会社取締役就任、27年3月同辞任、養命酒製造株式会社取締役就任	〃 67,375
常務取締役 (経理部長)	新 井 正 太 郎 (大正4年1月3日生) [住所隠蔽]	昭和10年3月高千穂高等商業学校卒業、4月株式会社天龍館入社、12年3月同社取締役就任、26年3月同辞任、天龍酒造株式会社取締役就任、27年3月同辞任、養命酒製造株式会社取締役就任	〃 86,927
常務取締役 (広告部長) (業務部長)	塩 沢 護 (大正10年7月30日生) [住所隠蔽]	昭和18年9月明治大学商学部卒業、23年1月株式会社天龍館入社、27年3月養命酒製造株式会社取締役就任	〃 140,780
取締役 (販売部長)	本 田 朗 (明治42年6月22日生) [住所隠蔽]	昭和6年3月明治大学付属商業中退、4月養命酒本館入社、22年12月同退社、25年4月株式会社大栄商会取締役就任、28年6月養命酒製造株式会社取締役就任	〃 45,874
取締役	大 西 好 雄 (大正5年3月5日生) [住所隠蔽]	昭和5年3月長野県上伊那郡飯島高等小学校卒業、4月養命酒本館入社、23年1月株式会社天龍館取締役就任、26年12月養命酒製造株式会社取締役就任	〃 66,100
取締役 (工場長)	水 野 大 二 (大正元年12月30日生) [住所隠蔽]	昭和2年4月長野県上伊那郡南向高等小学校卒業、4年12月株式会社天龍館入社、32年1月養命酒製造株式会社取締役就任	〃 30,600
取締役 (関西支店) (長)	中 沢 恒 雄 (明治44年9月4日生) [住所隠蔽]	昭和3年3月長野県立松本第二中学校卒業、29年4月養命酒製造株式会社入社、33年1月養命酒製造株式会社取締役就任	〃 8,866
取締役 (総務部長)	宮 下 武 志 (昭和3年2月17日生) [住所隠蔽]	昭和20年3月長野県立上伊那農学校卒業、26年4月株式会社天龍館入社、31年1月養命酒製造株式会社監査役就任、35年11月同辞任、養命酒製造株式会社取締役就任	〃 136,000

役名及び職名	氏名 (生年月日及び住所)	略歴	所有株式の額面、無額面の別、種類及び数
常任監査役	榎 木 孝 三 (明治41年6月21日生)	大正12年3月石川島鳳至郡大屋小学校卒業、昭和19年4月一元製薬工業(株)取締役就任、28年1月太栄薬品株式会社取締役就任、29年7月南海農産化工(株)代表取締役就任、32年1月養命酒製造株式会社取締役就任、37年1月同辞任、養命酒製造株式会社常任監査役就任	額面普通株式 6,569 株
監査役	塩 沢 正 治 (明治35年6月22日生)	大正14年物理学校中退、昭和4年1月養命酒販売業に携る、18年2月株式会社天竜館代表取締役就任、26年3月同辞任、天竜酒造株式会社代表取締役就任、28年1月同辞任、6月養命酒製造株式会社監査役就任	〃 89,040
監査役	宮 下 直 雄 (明治29年5月8日生)	大正12年6月株式会社天竜館取締役就任、昭和18年2月同代表取締役就任、26年12月養命酒製造株式会社代表取締役就任、27年4月同辞任、28年6月同監査役就任、31年1月同辞任、同監査役就任	〃 17,000
計	14 名		〃 839,207

(7) 従業員の状況

(昭和36年11月30日現在)

区 分	男女別	人 数	平均年令	平均勤続年数	平均給与月額
事務職員	男	123	32.7	7.4	27,708 円
	女	40	25.7	2.4	13,426
現業職員	男	144	32.8	7.1	25,019
	女	68	20.8	3.8	16,926
計	男	267	32.8	7.2	26,273
	女	108	22.8	3.2	15,483
計又は平均		375	30.1	6.2	23,374

注 上記平均給与月額は税及び基準外賃金を含む1ヶ月総支給額の平均である。

労働組合の状況

当会社は労組未結成、但し毎月1回会合する親睦会があり意見の開陳がある。

第 2 事業の内容と設備の状況

(1) 事業の内容

定款に掲げられた目的の内現在営んでいる業務は養命酒及びその他の酒類、ぶどう糖の製造販売である。

具体的内容

養命酒を主とし、焼酎及び清酒醪添加用アルコール並びにぶどう糖の製造販売である。

注 日本薬局方外医薬品としては薬用養命酒を製造販売している。

事業別部門別ウエイト

(昭和 35 年 12 月 1 日～昭和 36 年 11 月 30 日)

品 目	区 分	生 産 実 績	百 分 比	摘 要
養 命 酒		千円	%	
焼 酎		440,527	84.40	
添 加 用 酒 精		32,605	6.24	
ぶ ど う 糖		48,779	9.34	
	{ 自 家 原 料 外 売 }	(62,244)	0.02	
合 計		94		
		522,005	100.00	

注 価格は製造原価による。

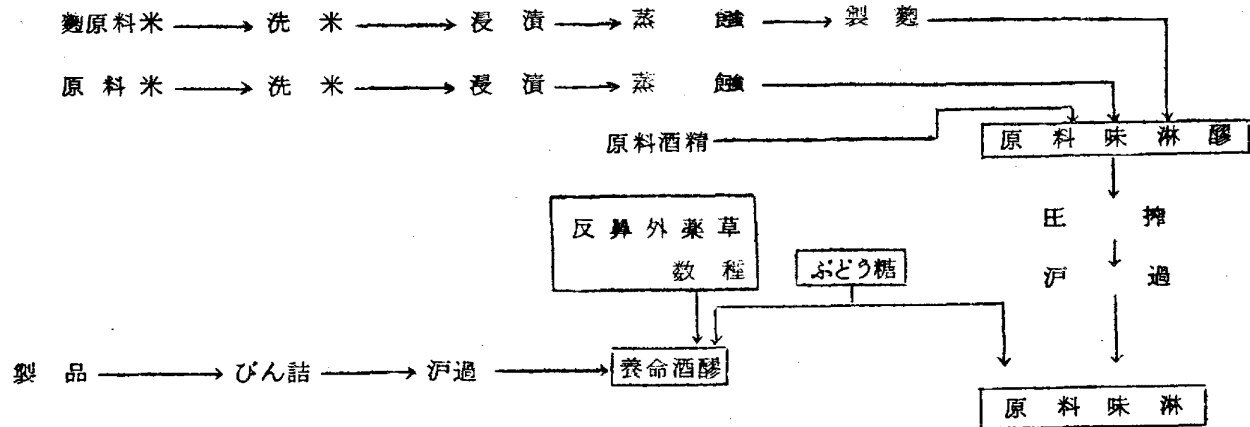
ぶどう糖は自家用原料として使用する。

但しその内 1,314 立は外売している。その製造原価は 94 千円である。

養命酒の中薬用酒と薬味酒は大体半々位である。

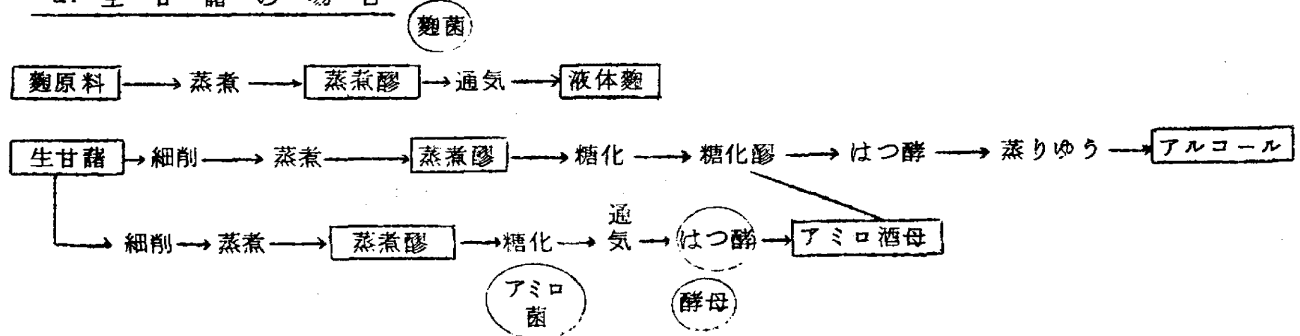
生 産 系 統 図

1) 養 命 酒

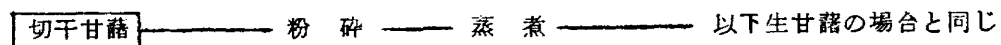


2) 酒 精

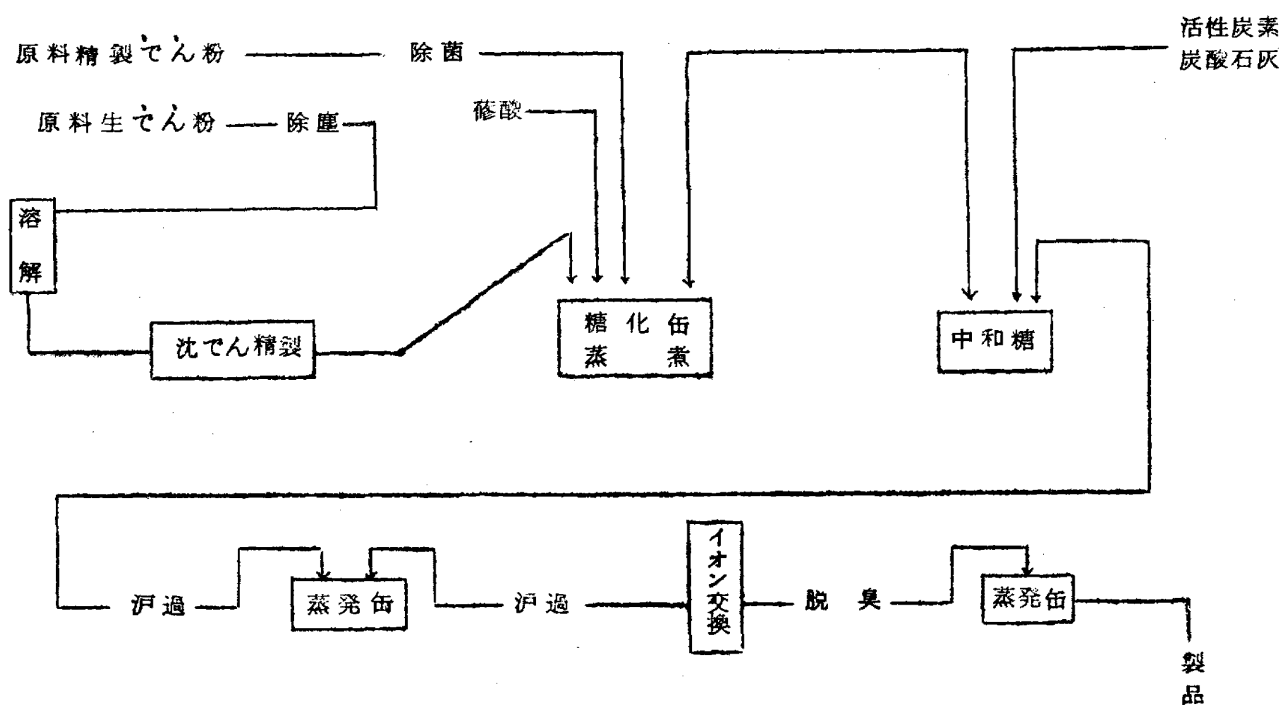
a. 生 甘 藷 の 場 合



b. 乾 燥 原 料 の 場 合



3) ぶ ど う 糖



(2) 設備の状況

(昭和36年11月30日現在)

区分	事業内容及び能力 (年間)	土		地		建		物		構築物	機械及び 装置	車輛及び その他の 陸上運搬 具	工具器 及び備品	合 計	従 員	業 数
		所有坪数	帳簿価格	借用地坪	坪	所有坪数	帳簿価格	借用建坪	坪							
本店	養命酒の販売を行 っている	2,141.61	35,828	87	坪	1,501.89	64,266	23,780	坪	86	千円	8,291	千円	112,215	千円	95
関西支店	養命酒の販売を行 い一方ぶどう 糖の製造を行っ ている。その能 力は1,710坪で ある。	1,849.08	13,917	3,029.93	坪	237.71	4,736	1,124	坪	1,737	千円	2,566	千円	34,615	千円	42
福岡営業所	養命酒の販売を行 なっている。	678.28	10,089	—	坪	14,617	4,431	—	坪	626	千円	542	千円	16,078	千円	10
第2工場	養命酒、焼酎の 製造を行っている。 その能力は養命酒、 3,250坪、焼酎 5,812坪である。	6,874.00	18,236	10,250	坪	1,686	14,894	3,863	坪	2,605	千円	3,722	千円	67,496	千円	154
第3工場	添加用酒精の製 造を行っている。 その能力は 1,407坪である。	294.46	25,561	—	坪	1,316.07	62,490	—	坪	30,571	千円	732	千円	181,643	千円	74
計		40,988.97	103,631	13,366.93	坪	4,887.84	150,817	5,224.80	坪	35,625	千円	15,853	千円	412,047	千円	375

注 借用土地及び建物は夫々東京都渋谷区上通4～39 丸元産業株式会社から賃借している。
賃借期限は、5年間でその都度更新する事とし、賃借料は月額2,405千円である。

主なる機械及び装置

区 分	品 名	台 数	型 式	能 力	稼働未稼働
関西支店 生産設備	加圧分解かん	1	鉄製 三港商会	1.21m×3.03m	稼働
	二重効用かん	1	内部銅 三菱	50m ² 2.5 t	〃
	仕上用濃縮かん	1	内部ステンレス	1.21m×1.82m	〃
	糖化かん	1	日本機械	〃	〃
	渦巻ポンプ	1	50% SHM型	0.023m ³ /min×20	〃
		1	75% 〃	0.056m ³ /min×175	〃
	圧濾機	1	24×26 日本化学機械	1時間 1,800立	〃
	かん洗滌機	1	竹中製	2HPモーター付	〃
	貯液槽	1	山口鉄工	内部銅	〃
	構置多管式汽かん	1式			
	ランカシヤ汽かん	1式		6×7.28m6.5K	〃
	オイルバーナ	1式	日化	1/2×1/4 HP	〃
	渦巻ポンプ	1	荏原 SHM型	3HP×4HP	〃
		6	50% SLM型		〃
		1	100% SAM型	7.5×4	〃
	空気圧縮機	1		5HP	〃
		1		3HP	〃
		1			
	ベルトコンベヤー	1	日本プラント		〃
その他の設備	単相油入自冷変圧器	1	大阪変圧		〃
	珐瑯タンク	12	神戸製鋼		〃
	テープリンク	1式	木製		〃
	イオン交換装置	1式	オルガノ商会		〃
	でん粉輸送用ポンプ	2	満栄商会		〃
	でん粉回収用槽	2		コンクリート製	〃
	中型トラック	1	ジュピター1961年型		〃
	小型四輪貨物	1	トヨタライトバン59年型		〃
		1	〃 1960年型		〃
	乗用車	1	トヨペットクラウン1961年型		〃
第2工場 生産設備	軽自動二輪車	1	ドリーム		〃
	軽自動三輪車	1	マツダ		〃
	屋外貯蔵タンク	2		162,000立入 1	〃
				166,000立入 1	〃
				36,000立入	〃
	調合タンク	4			
	珐瑯タンク	264			
	キャップシール締機	1	6本立油圧式	毎時300本	〃
	自動瓶詰機	1		〃	〃
	自動洗瓶機	1	6本立水切装置付		〃
	自濾過機	3			〃
	精米機	2	中野式 佐竹式		〃
	洗米機	1	永田式		〃
	圧搾機	2	10HP二段コンベヤー付	毎時375疋	〃
	粉砕機	1			〃
	遠心分離機	3			〃
	汽缶	1	横置多管式		〃
	フィルタープレス	2			〃
	ポンプ類	24			〃
	自動キャップ締機	1			〃
	輸送タンク	3		各3,600立入	〃
第2工場 生産設備	空気清浄装置	1			〃
	ジェット・ミキサー	1			〃
	急速殺菌装置	1	日阪プレート式熱交換器		〃

区 分	品 名	台 数	型 式	能 力	稼働未稼働
その他の設備 第3工場 生産設備	乗 用 車	1	53年フォードメインライン		稼働
	トラ ッ ク	2	ニッサン		〃
	小型四輪車	2	プリンス		〃
	自動二輪車	3	(メグロ 250cc 2 メグロ 125cc 1)		〃
	試験醸酵装置	1			〃
	蒸 蒸 機	1	日化五型	醗処理1日108,000立	〃
	煮 機	3	球型2横型1	31,700立 17,000立 4,680立	〃
	醗糖 醇 槽	10		1基62,000立入	〃
	酒 化 槽	2		醗処理1日14,400立	〃
	検 母 槽	5		33,000立	〃
	製 定 槽	2		20,000立	〃
		13		(3基17,000立) (4基18,000立) (6基14,400立)	〃
	貯 蔵 タ ン ク	2		1基186,000立 1基192,000立	〃
	汽 缶	3	(横置多管式 2 水管 式 1)		〃
	発 電 装 置	1	(ディーゼル機関, 三相 交流発電機)	250KVA	〃
	自動車計重機	1	(TSK型無錘式)		〃
	廃液処理装置	1		廃液処理1日120m³	〃
	メタンガス貯槽	1	(円型縦型水槽式)	容量 200m³	〃
	四輪貨物自動車	1	ニッサン		〃
	自動二輪車	2	ホンダベンリー号		〃
その他の設備 本店 その他の設備	乗 用 車	1	メンドスベンツ61年		〃
	〃	3	プリンススカイライン		〃
	四輪貨物自動車	3	プリンスニューマイラ		〃
	〃	3	トヨペットライトバン		〃
	〃	1	トヨペットマスターライ ン		〃
	オ ー ト バ イ	3	片倉シルク号		〃
	〃	1	メグロ 59年型		〃
	ス ク ー タ	5	ラビット		〃

主なる設備の新設拡充若しくは改修又はそれらの計画

(昭和36年11月30日現在)

施行区分	相手先		予算額	支払済金額	着 工 日 年 月 日	完 成 日 年 月 日	完 成 率 %	資金調達方	摘 要
	住 所	氏 名							
第2工場 建 倉 庫	長野県岡谷市	岡谷組外	千円 150,000	千円 3,261	36. 8. 4	37. 12. 31		銀行借入	
〃	長野県上伊那郡	田島建設外10	3,000	2,346	34. 12. 10	37. 12. 31	80	自己資金	養命酒醸造庫 3棟 建坪 436坪
〃 詰 機	東京都中央区月島通	新光製作所	3,320	1,800	36. 8. 21	36. 12. 30	90	〃	壘詰能力 毎時3,000本
〃 打 栓 機	〃	〃	2,180	0	36. 8. 21	36. 12. 30	10	〃	打栓能力 毎時3,000本
第3工場 建 場 物	長野県上伊那郡	田島木材(株)外	11,317	7,512	35. 12. 28	37. 2. 28	75	〃	建均90坪

施行区分	相手先		予算額	支払済金額	着工年月日	完成年月日	完成率	資金調達方法	摘要
	住所	氏名							
第3工場 廃熱回収設備	東京都世田谷区北沢	大野化学機械(株)	千円 3,576	千円 1,180	36. 9. 16	37. 1. 31	50	自己資金	巾 1.46m× 長2.7m高サ 4.00m 伝熱 面積156m ²
社宅	長野県上伊那郡	田島木材(株)外	10,521	5,025	36. 9. 30	37. 3. 31	50	〃	建坪25.66坪 ×12棟 307坪92

注 第2工場建物

養命酒の売上げは、ここ1, 2年日を追って上昇しつつある為、現在の第2工場(長野県岡谷市)の養命酒製造設備だけでは、将来間に合わぬ恐れもあるので第2工場隣接地(当社敷地)に新たに鉄筋コンクリート建の近代的工場を建築し、養命酒の増産と共に、品質の向上、企業の合理化を計るものである。
設備能力年間 4,000 軒

第 3 営 業 の 状 況

(1) 生 産 能 力

設備能力及び稼働能力と最近の推移

品目別	区 分	第 41 期 (33. 12. 1～34. 11. 30)		第 42 期 (34. 12. 1～35. 11. 30)		第 43 期 (35. 12. 1～36. 11. 30)	
		設 備 能 力	稼 働 能 力	設 備 能 力	稼 働 能 力	設 備 能 力	稼 働 能 力
養 命 酒		3,247	2,706	3,247	2,706	3,250	3,100
焼 ち ゆ り (25%)		812	722	812	722	812	722
添 加 用 酒 精 (88%)		1,407	1,317	1,407	1,317	1,407	1,317
ぶ ど ろ 糖		1,624	1,380	1,624	1,380	1,710	1,380
合 計		7,090	6,125	7,090	6,125	7,179	6,519

注 設備能力に比し稼働能力の低いのは需給関係による。

生産能力算定方法

- 1 養 命 酒 仕込と熟成とを交互に繰返し約 4,300 立入タンク毎月 62 個製成目標とし年間延750個 (3,250 立)を生産しうる。併し需要の季節的偏在と原材料の入手状況を勘案し 3,100 立の稼働能力とする。
- 2 焼ちゆり及び添加用酒精 何れも原料用酒精の生産に基くが当社の蒸りゆり機は醗処理能力 1 日 108,240 立 (100 %, 酒精 6,169.68 立)年間 2,219 立を生産しうる。これも又需要の季節的偏在と原材料の出廻りが一時に集中する為 2,039 立を稼働能力とする。
- 3 ぶ ど ろ 糖 最終仕上濃縮缶の生産能力はぶどう糖比重 1,300 のものを 1 日 (8 時間)に於て 4,600 立を生産する能力を有する故 1 ケ年間 300 日として 1,380 立となる。

(2) 生 産 実 績

生産概要

養命酒の生産は需要と相俟つて前年に比し著しく増加を見るに至りましたが、これは第 41 期において市場在庫調整を行つた結果、前期からは売上も正常に戻り順調な出荷を見るに至つたためである。ぶどう糖は養命酒の生産の多寡により調節される。添加用酒精は大体 11 月から 4 月頃迄生産して、酒造家に販売する関係上、5 月から 10 月頃迄は生産を行わない。

(a) 生産数量、金額及び月平均比較

(単位金額は千円、数量は立)

期 間	区 分	摘 要	養 命 酒	焼 ち ゆ り	添加用酒精	ぶ ど ろ 糖	合 計
第 42 期 (34. 12. 1～35. 11. 30)	生産数量		2,310,265	485,474	444,347	982,318	4,222,404
	金 額		332,289	29,334	50,747	外売 4,795 (47,648)	417,165
	月平均数量		192,522	40,456	37,029	81,860	351,867
	月平均金額		29,895	2,445	4,229	399	36,963
第 43 期 (35. 12. 1～36. 11. 30)	生産数量		2,986,611	499,333	458,289	1,108,200	5,052,433
	金 額		440,527	32,605	48,779	外売 94 (62,244)	522,005
	月平均数量		248,884	41,611	38,190	92,350	421,036
	月平均金額		36,710	2,717	4,064	7	43,498

注 1 金額は製造原価による。

2 ぶどう糖は自家用原料とし、一部外売しているその外売数量及び金額は 1,314 立 94 千円で社内振替分は 1,106,886 立 62,244 千円である。

(b) 稼 働 率

期 別	品目別 区分	養 命 酒	焼 ち ゆ り	添加用酒精	ぶ ど ろ 糖	合 計
第 42 期	稼 働 能 力	立 2,706,000	立 722,000	立 1,317,000	立 1,380,000	立 6,125,000
	生産実績	2,310,265	485,474	444,347	982,318	4,222,404
	百 分 比	85.37%	67.24%	33.74%	71.00%	68.94%
第 43 期	稼 働 能 力	立 3,100,000	立 722,000	立 1,317,000	立 1,380,000	立 6,519,000
	生産実績	2,986,611	499,333	458,289	1,108,200	5,052,433
	百 分 比	96.34%	69.16%	34.80%	80.30%	77.50%

注 添加用酒精が稼働能力に比較して生産実績の低いのは、現在、その販路が長野県の中、南信地区の一部の為である。

(c) 主要原材料受払状況

(35.12. 1~36.11.30)

品 目		区 分	単位	繰 越 量	入 手 量	消 費 量	在 庫 量
生 玉 米 粳 糯 藥 生 土 養	甘 蜀	諸 黍 糠 米 米 類 粉 粉	庇	1,140,877	2,863,558	2,831,150	1,173,285
			シ	9,957	40,175	46,797	3,335
			シ	31,488	158,421	140,355	49,554
			シ	7,632	18,360	25,429	563
			シ	1,253	111,420	110,963	1,710
	草 澱	澱 空 瓶	シ	23,783	107,423	86,803	44,403
			シ	143,000	586,450	656,650	72,800
			シ	15,838	4,267	18,225	1,880
			本	41,148	1,711,049	1,600,439	151,758
			シ	93,954	1,301,428	1,319,600	75,782

主要原材料の価格の推移

品 名		月 別	単 位	35年12月	36年 1 月	2 月	3 月	4 月
生 反 人 養	甘 命 酒	諸 鼻 蔘 瓶	庇	7.80	—	—	—	—
			シ	—	7,800	—	—	—
			シ	5,600	5,600	4,813	5,600	—
	1,000 ml	空	本	18.16	18.18	18.07	18.01	18.18
	シ 800 ml	シ	シ	16.02	16.06	16.21	15.60	15.79
	シ 400 ml	シ	シ	13.75	13.99	13.82	13.17	13.40
	1,000 ml 段	ボ	函	131.00	130.60	130.25	130.16	130.09
	800ml	シ	シ	82.38	82.28	82.07	82.07	82.05
	450ml	シ	シ	59.15	59.09	59.00	59.00	59.00
赤 1,000 ml	ケ	— ス	枚	8.54	8.65	8.76	8.65	8.58
黄 1,000 ml		シ	シ	10.52	10.52	11.32	10.01	10.30
土 肉	澱	株	庇	—	—	16.00	—	—
生 澱		粉	シ	25.00	28.00	28.00	28.00	—
乾 燥	澱	粉	シ	—	44.00	44.00	44.00	44.00
石 炭		油	屯	5,900	5,900	6,400	6,100	—
重			立	10.60	9.80	9.80	9.80	7.85

注 価格の記入のないのは購入がなかつたためである。

(3) 受注状況と生産計画

(a) 受注生産は行っていない。

(b) 今後の生産計画

区 分	品 名	養 命 酒	焼 ち ゅ う	添加用酒精	ぶ ど り 糖	合 計
36 年	12 月	立 328,000	立 40,000	立 184,000	立 101,200	立 653,200
37 年	1 月	245,000	30,000	96,000	101,200	472,200
	2 月	250,000	30,000	100,000	118,800	498,800
	3 月	250,000	32,000	69,000	119,600	470,600
	4 月	285,000	35,000	31,000	101,200	452,200
	5 月	290,000	37,000	31,000	62,000	450,000
	6 月	250,000	44,000	31,000	92,000	417,000
	7 月	290,000	43,000	31,000	92,000	456,000
	8 月	290,000	42,000	31,000	92,000	455,000
	9 月	260,000	39,000	20,000	92,000	411,000
	10 月	260,000	38,000	—	64,400	362,400
	11 月	252,000	39,000	20,000	119,600	430,600
	計	3,250,000	449,000	644,000	1,186,000	5,529,000

品 目			区 分	単位	繰 越 量	入 手 量	消 費 量	在 庫 量
赤	1,000	ml	段ボール函	函	7,801	88,720	84,459	12,062
赤	800	ml	〃	〃	9,387	70,817	72,569	7,635
黄	1,000	ml	〃	〃	8,082	44,350	43,433	8,999
黄	800	ml	〃	〃	8,001	33,365	38,494	2,872
赤	1,000	ml	ケ ー ス	枚	48,409	1,169,782	1,060,624	157,567
赤	800	ml	〃	〃	84,292	951,901	898,476	137,717
黄	1,000	ml	〃	〃	92,570	530,746	535,807	87,509
黄	800	ml	〃	〃	92,186	501,199	443,294	150,091
石			炭	庇	30,140	1,295,040	1,151,860	173,320
重			油	立	23,630	878,600	889,150	13,080

注 主要原料である穀類及び蒔類の買付は大体毎年10月から翌年の3月頃迄である。
豊年、下作の関係で値段の高低はあるが能力に対する所要量には影響しない。

5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
—	—	—	—	—	8.06	7.96
—	—	7,800	—	7.80	—	7,800
5,324	—	—	3,500	3,696	3,748	3,706
19.03	19.53	19.60	19.56	19.80	19.64	19.71
16.73	16.50	16.32	16.14	16.39	16.03	16.22
14.28	14.39	15.15	13.90	13.76	13.45	13.56
130.99	134.97	131.60	127.52	127.76	127.10	132.11
83.02	83.80	84.10	83.33	78.94	81.74	83.77
59.67	60.71	60.74	60.50	60.45	60.61	63.37
8.29	9.06	8.87	9.03	9.29	10.21	8.16
10.23	10.31	10.32	10.79	11.25	10.60	11.66
—	—	—	—	—	21.00	21.00
—	—	—	—	—	—	27.00
44.00	44.00	46.00	46.00	—	—	—
6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
5.80	5.90	6.03	6.04	6.40	6.77	6.80

注 焼ちゆう生産は焼ちゆう組合の出荷規制があるので前期実績に基き上記の通り計画した。

(4) 販 売 実 績

(a) 特殊の販売方法は行っていない。

販売数量、金額及び月別平均

品名	期別	摘 要	養命酒	焼ちゆう	添加用 酒 精	副 産 物					水あ め	ライ ナー ビヤ ー	その 他	合 計
						メチ ール	フー ゼル	バッ ト	味淋 粕	なつめ 椰子種				
第42期		販売数	立 2,303,157	立 483,469	立 447,979	立 3,718	立 1,940	立 8,852	庇 29,653	庇 129,700	立 42,434	立 —	庇 3,291,549	立 44,700
34. 12.		量											水あめ粕	204,053
1~35.		〃金額	1,085,694	73,129	52,013	145	198	344	2,467	752	4,814	—	54	1,219,610
11. 30		月別平 均数量	191,930	40,289	37,331	310	162	738	2,471	10,808	3,536	—	3,725	244,295
		〃金額	90,474	6,094	4,334	12	17	29	206	59	401	—	4	101,630
第43期		販売数	2,892,030	501,538	461,313	8,325	8,724	11,686	43,447	144,000	9,325	54,017	—	3,937,633
35. 12.		量												196,772
1~36.		〃金額	1,347,742	74,689	54,070	280	570	385	3,577	835	579	8,434	297	1,491,458
11. 30		月別平 均数量	241,002	41,795	38,442	694	727	974	3,621	12,000	777	4,502	—	328,136
		〃金額	112,316	6,224	4,505	23	47	32	298	69	48	702	24	124,288

(b) 主要製品販売価格の推移

(但し生産者価格立当り円)

月 別		品 目	養 命 酒	焼酎(25%)	添加用酒精(88%)	ぶ ど う 糖
35	年	12 月	500	141	120	80
37	年	1 月	500	141	120	80
		2 月	500	141	120	80
		3 月	500	141	120	80
		4 月	500	141	120	80
		5 月	500	141	120	80
		6 月	500	141	120	80
		7 月	500	146	120	80
		8 月	500	146	120	80
		9 月	500	146	120	80
		10 月	500	146	120	80
		11 月	505	146	120	80

第 4 経 理 の 状 況

監 査 報 告 書

養 命 酒 製 造 株 式 会 社

事業年度 (昭和 35 年 12 月 1 日から)
(第 43 期) (昭和 36 年 11 月 30 日まで)

養命酒製造株式会社

取締役社長 塩 沢 総 殿

作 成 日 昭和 37 年 2 月 24 日
事務所所在地 東京都中央区銀座西 6 丁目 1 番地
(銀帝ビル)
事務所名 阿 南 法 律 会 計 事 務 所
公 認 会 計 士 片 岡 明 幸 ㊞
電 話 東 京 (571) 8574 番

- 1 私は、証券取引法第 193 条の 2 に基づく監査証明を行うため、この有価証券報告書に記載されている養命酒製造株式会社の昭和 35 年 12 月 1 日から昭和 36 年 11 月 30 日までの第 43 期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書及び付属明細表について監査を行った。
- 2 この監査に当つて、私は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、正規の監査手続及び私が必要と認めた監査手続を実施した。
- 3 監査の結果、会社の採用する会計処理の原則及び手続は、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠し、かつ、前事業年度と同一の基準に従つて継続して適用されており、また財務諸表の表示方法は法令の定めるところに準拠しているものと認められた。よつて、私は、上記の財務諸表は養命酒製造株式会社の昭和 36 年 11 月 30 日現在の財政状態及び同日をもつて終了する事業年度の経営成績を適正に表示しているものと認めた。

養命酒製造株式会社と私との間には利害関係はない。

(1) 財務諸表

(1) 貸借対照表

資 産 の 部										
科 目	期 別	第 42 期 (35.11.30現在)				第 43 期 (36.11.30現在)				増減(△)
		金	額	比率		金	額	比率		
		千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	%	千円
I 流動資産										
1 現金及び預金				384,783				353,152		△ 31,631
2 受取手形*1*2			113,999				130,751			
貸倒引当金			9,667	104,332			9,222	121,529		17,197
3 売掛金			121,106				74,518			
4 関係会社に対する売掛金			24,057				29,789			
貸倒引当金			3,702	141,641			2,343	101,964		△ 39,497
5 有価証券				8,750				15,366		6,616
6 製品				44,154				69,732		25,578
7 半製品				80,098				32,103		△ 47,995
8 原材料				54,519				36,104		△ 18,415
9 仕掛品				30,679				43,244		12,565
10 貯蔵品				27,765				34,583		6,818
11 前渡金			13,153				11,156			
12 関係会社前渡金*3			12,772				20,632			
貸倒引当金			648	25,277			225	31,563		6,286
13 前払費用				9,881				10,870		989
14 その他の流動資産										
1 株主, 役員, 従業員に対する短期債権		5,013				3,261				
貸倒引当金		26	4,987			50	3,211			
2 関係会社に対するその他の債権			52,108				77,566			
3 短期貸付金		8,615				10,879				
貸倒引当金		721	7,894			393	10,486			
4 未収入金			5,688				298			
5 法入税等仮払金			27,814				36,559			
6 その他			12,604	111,095			9,295	137,415		26,320
流動資産合計				1,022,794	56.4			987,625	49.4	△ 35,169
II 固定資産										
(1) 有形固定資産*4										
1 建物			125,310				192,984			
減価償却引当金			35,899	89,411			42,167	150,817		61,406
2 構築物			12,296				43,773			
減価償却引当金			6,832	5,464			8,148	35,625		30,161
3 機械及び装置			158,420				204,745			
減価償却引当金			98,255	60,165			109,943	94,802		34,637
4 車輛及びその他の陸上運搬具			26,664				28,938			
減価償却引当金			13,819	12,845			13,085	15,853		3,008
5 工具器具及び備品			23,587				28,370			
減価償却引当金			14,392	9,195			17,051	11,319		2,124
6 土地				64,056				103,631		39,575
7 建設仮勘定				13,074				21,331		8,257
有形固定資産合計*5				254,210	14.0			433,378	21.6	179,168
(2) 無形固定資産										
1 借地権				2,037				2,037		—
2 その他の無形固定資産				3,025				2,741		△ 284
無形固定資産合計				5,062	0.3			4,778	0.2	△ 284

期 別 科 目		第 42 期 (35. 11. 30現在)				第 43 期 (36. 11. 30現在)				増減(△)
		金 額		比率	金 額		比率			
		千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	%	千円
(3)	投 資 資									
1	投 資 有 価 証 券			5,864				6,814		950
2	関 係 会 社 株 式			123,190				123,190		—
3	出 資 金			1,910				1,910		—
4	長 期 貸 付 金		10,000				11,000			
	貸 倒 引 当 金		140	9,860			247	10,753		893
5	役員、従業員に対す る長期貸付金		3,843				8,170			
	貸 倒 引 当 金		22	3,821			183	7,987		4,166
6	関係会社に対する長 期貸付金		340,172				387,119			
	貸 倒 引 当 金		4,435	335,737			8,699	378,420		42,683
7	そ の 他 の 投 資									
1	貸 付 信 託		1,000				1,000			
2	金 銭 信 託		12,105				3,229			
3	定 期 積 金		1,802				—			
4	差 入 保 証 金		21,220				25,570			
5	退職給与引当保険 料		13,531	49,658			14,979	44,778	△	4,880
	投 資 合 計			530,040	29.2			573,852	28.7	43,812
	固 定 資 産 合 計			789,312	43.5			1,012,008	50.5	222,696
Ⅲ	繰 延 勘 定 用									
1	前 払 費 用			1,295				971	△	324
	繰 延 勘 定 合 計			1,295	0.1			971	0.1	△ 324
	資 産 合 計			1,813,401	100.0			2,000,604	100.0	187,203
負 債 の 部										
Ⅰ	流 動 負 債									
1	支 払 手 形			114,148				143,560		29,412
2	買 掛 金			11,710				11,594	△	116
3	短 期 借 入 金			326,000				300,000	△	26,000
4	未 払 金			3,295				12,071		8,776
5	未 払 酒 税			40,098				52,000		11,902
6	未 払 費 用			56,432				71,498		15,066
7	預 り 金			498				1,006		508
8	預 り 保 証 金			20,764				16,387	△	4,377
9	引 当 金									
1	納 税 引 当 金		459				5,845			
2	棚卸資産の価格変動 準備金 * 6		18,000	18,459			17,200	23,045		4,586
10	その他の流動負債									
	従業員預り金		16,076	16,076			24,422	24,422		8,346
	流動負債合計			607,480	33.5			655,583	32.8	48,103
Ⅱ	固 定 負 債									
	長 期 借 入 金			124,000				183,000		59,000
	固 定 負 債 合 計			124,000	6.8			183,000	9.1	59,000
	負 債 合 計			731,480	40.3			838,583	41.9	107,103
資 本 の 部										
Ⅰ	資 本 金			368,280	20.3			368,280	18.4	
	(授 権 株 式 数)	(16,000,000株)				(16,000,000株)				
	(発 行 済 株 式 数)	(7,365,600株)				(7,365,600株)				
	(未 発 行 株 式 数)	(8,634,400株)				(8,634,400株)				

科 目	金 額				比率	金 額				比率	増減(△)
	千円	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	%	千円
Ⅱ 資 本 剰 余 金											
(1) 資 本 準 備 金			33,600					33,600			
(2) 再 評 価 積 立 金			7,473					7,389			
資 本 剰 余 金 合 計			41,073	2.3				40,989	2.1△		84
Ⅲ 利 益 剰 余 金											
(1) 利 益 準 備 金			94,000					103,000			
(2) 任 意 積 立 金											
1 退 職 給 与 積 立 金		87,814					95,814				
2 別 途 積 立 金		300,000	387,814				315,000	410,814			
(3) 当 期 未 処 分 利 益 剰 余 金											
1 繰 越 利 益 剰 余 金 期 末 残 高		14,283					5,555				
2 当 期 純 利 益		176,471	190,754				233,383	238,938			
利 益 剰 余 金 合 計			672,568	37.1				752,752	37.6		80,184
資 本 合 計			1,081,921	59.7				1,162,021	58.1		80,100
負 債 資 本 合 計			1,813,401	100.0				2,000,604	100.0		187,203

脚 注

昭和 35 年 11 月 30 日現在

- * 1 この外受取手形割引高は 265,266 千円である。
 * 2 裏書譲渡したるものなし
 * 3 南海農産化工株式会社に対するでん粉代である。
 * 4 有形固定資産は資産再評価法に基き昭和 28 年 12 月 1 日を再評価日として第 3 次の再評価を行った。
 * 5 有形固定資産の内、建物 41,496 千円、土地 4,896 千円(本店建物及び敷地)は長期借入金 104,000 千円の担保に供している。
 * 6 たな卸資産の価格変動準備金の設定は租税特別措置法第 53 条の定めるところによつて当社の所有たな卸資産全部(製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品)に対して一括計上したものである。
 価格変動準備金繰入限度額 18,977 千円
 同上限度額に対する繰入比率 94.85%

昭和 36 年 11 月 30 日現在

この外受取手形割引高は 279,643 千円である。
 左に同じ
 左に同じ

左に同じ

有形固定資産の内、建物 41,496 千円、土地 4,896 千円(本店建物及び敷地)は長期借入金 80,000 千円の担保に供している。
 左に同じ

価格変動準備金繰入限度額 17,261 千円
 同上限度額に対する繰入比率 99.64%

(2) 損 益 計 算 書

科 目	期 別	第 42 期 (34. 12. 1~35. 11. 30)			第 43 期 (35. 12. 1~36. 11. 30)			増 減(△)
		金	額	比率	金	額	比率	
		千円	千円	%	千円	千円	%	千円
Ⅰ 売 上 高								
1 総 売 上 高		1,422,736			1,622,297			
2 売上借引及び戻り高		203,126	1,219,610	100.0	130,839	1,491,458	100	271,848
Ⅱ 売 上 原 価								
1 期首製品たな卸高		47,715			44,154			
2 当期商品仕入高 * 1		—			9,072			
3 当期製品製造原価		417,165			522,005			
4 酒 税 * 2		203,405			256,122			
合 計		668,285			831,353			
5 期末製品たな卸高 * 3		44,154	624,131	51.2	69,732	761,621	51.1	137,490
売 上 総 利 益			595,479	48.8		729,837	48.9	134,358
Ⅲ 一 般 管 理 費 及 び 販 売 費								
1 役 員 報 酬		13,812			20,498			
2 給 料 手 当		34,303			52,099			
3 賞 与 金		7,271			20,496			
4 退 職 手 当		9,173			564			

科 目	期 別	第 42 期 (34. 12. 1~35. 11. 30)			第 43 期 (35. 12. 1~36. 11. 30)			増 減(△)
		金	額	比率	金	額	比率	
5 法 定 福 利 費		千円	千円	%	千円	千円	%	千円
6 厚 生 費		2,068			2,526			
7 旅 費		4,677			6,444			
8 通 信 費		14,313			18,425			
9 水 道 光 熱 費		9,490			9,926			
10 消 耗 品 費		1,253			1,650			
11 租 税 公 課 * 4		7,653			7,724			
12 下 動 産 賃 借 料		28,085			33,671			
13 減 価 償 却 費 * 5		2,796			4,915			
14 修 繕 費		8,601			9,635			
15 支 払 保 險 料		2,110			2,291			
16 交 際 費		880			1,140			
17 広 告 宣 伝 費		8,507			14,350			
18 販 売 輸 送 費		159,562			183,264			
19 寄 付 金		48,917			52,754			
20 会 議 費		3,007			1,056			
21 問 屋 手 数 料		4,406			3,966			
22 小 売 店 報 奨 金		11,944			12,336			
23 雑 費		15,384			15,165			
当期営業利益		5,620	403,832	33.1	8,594	483,489	32.4	79,657
Ⅳ 営業外収益			191,647	15.7		246,348	16.5	54,701
1 受 取 利 息		43,416			45,835			
2 受 取 配 当 金		1,041			758			
3 受 取 社 宅 家 賃		3,234			5,720			
4 貸 倒 引 当 金 戻 入		—			4,242			
5 仕 入 割 引		589			17			
6 雑 収 入		3,426	51,706	4.3	4,179	60,751	4.1	9,045
当期総利益			243,353	20.0		307,099	20.6	63,746
Ⅴ 営業外費用								
1 支 払 利 息 及 び 割 引 料		61,290			58,786			
2 貸 倒 引 当 金 繰 入		1,806			6,244			
3 株 式 発 行 費 償 却		649			—			
4 原 価 差 損		2,910			4,103			
5 雑 損 失		227	66,882	5.5	4,583	73,716	5.0	6,834
当期純利益			176,471	14.5		233,383	15.6	56,912

脚 注

自昭和34年12月1日至昭和35年11月30日

*1 該当なし

*2 酒税は売上原価に計上され容器は製造原価の原材料費に計上されている。当期において国に納付の確定した酒税の算出基礎は次のとおりであり、庫出税の関係上売上原価で表示した。

課税時期	庫出の時	
税 率		
養命酒	1 kl 当り	73,620円
焼 酎(25%)	1 kl 当り	70,900円

*3 たな卸方法 帳簿たな卸と実地たな卸とを併用
評価基準 移動平均法による原価法に基く低
価法

*4 租税公課の主なものは次のとおりである。
事 業 税 21,572千円

自昭和35年12月1日至昭和36年11月30日

関係会社ライナービヤ(株)の製品であるライナービヤを関西支店にて仕入、販売したもので当期売上高は 8,434 千円である。

左に同じ

課税時期	庫出の時	
税 率		
養命酒	1 kl 当り	73,620円
焼 酎(25%)	1 kl 当り	70,900円

左に同じ

租税公課の主なものは次のとおりである。
事 業 税 23,944千円

固定資産税	1,121千円
法人利子税	1,180
不動産取得税	6
自動車税	220
長野県酒類卸協同組合外差金	611
酒造組合洋酒組合組合費	1,587
源泉所得税	920
印紙税	375
その他	493
計	28,085

固定資産税	1,197千円
法人利子税	653
不動産取得税	272
自動車税	276
長野県酒類卸協同組合外差金	576
酒造組合洋酒組合組合費	4,186
源泉所得税	1,557
印紙税	358
その他	652
計	33,671

* 5 該当なし

減価償却費 9,635 千円の内税法改正に伴う耐用年数の改定による償却増加額は 410 千円である。

製造原価明細表

科 目	期 別	第 42 期 (34. 12. 1~35. 11. 30)			第 43 期 (35. 12. 1~36. 11. 30)			増 減(△)
		金	額	比率	金	額	比率	
I 原 材 料 費		千円	千円	%	千円	千円	%	千円
1 期首原材料貯蔵品たな卸高		90,129			80,812			
2 当期原材料貯蔵品仕入高		307,953			342,862			
合 計		398,082			423,674			
3 期末原材料貯蔵品たな卸高		80,812			70,687			
当 期 原 材 料 費			317,270	76.1		352,987	67.6	35,717
II 労 務 費								
1 給 料 手 当		31,742			42,875			
2 賞 与 金		10,478			14,727			
当 期 労 務 費			42,220	10.1		57,602	11.0	15,382
III 経 費								
1 法 定 福 利 費		1,924			2,313			
2 厚 生 費		4,525			5,115			
3 退 職 金		1,324			1,987			
4 旅 費		876			1,932			
5 通 信 費		503			720			
6 運 送 費		778			1,349			
7 電 力 料		3,279			3,461			
8 水 道 光 熱 費		798			908			
9 消 耗 品 費		3,254			4,813			
10 消耗工具器具備品費		696			702			
11 租 税 公 課 * 1		2,674			2,091			
12 不 動 産 賃 借 料		20,519			22,074			
13 不 減 価 償 却 費 * 2		16,089			19,707			
14 修 繕 費		3,087			1,878			
15 支 払 保 険 料		1,541			1,554			
16 交 際 費		1,765			2,576			
17 試 験 研 究 費		290			377			
18 日 通 支 払 手 数 料		559			520			
19 寄 付 金		400			426			
20 外 注 加 工 費		104			207			
21 雑 費		607			1,276			
当 期 経 費			65,592	15.7		75,986	14.6	10,394
当 期 製 造 総 費 用			425,082			486,575		61,493
期首仕掛品たな卸高 * 3			13,165	5.2		30,679	5.9	17,514
期首半製品たな卸高 * 4			89,695	21.5		80,098	15.3	△ 9,597
合 計			527,942			597,352		69,410

期 別 科 目	第 42 期 (34.12. 1~35.11.30)			第 43 期 (35.12. 1~36.11.30)			増 減(△)
	金	額	比率	金	額	比率	
期末仕掛品たな卸高 * 3	千円	千円	%	千円	千円	%	千円
		30,679	7.4		43,244	8.3	12,565
期末半製品たな卸高 * 4		80,098	19.2		32,103	6.1	△ 47,995
当期製品製造原価		417,165	100.0		522,005	100.0	104,840

脚 注

評価方法：帳簿たな卸と実地たな卸とを併用

左に同じ

評価基準：移動平均原価法による低価法

原価計算：工程別総合原価計算

自昭和34年12月1日

自昭和35年12月1日

至昭和35年11月30日

至昭和36年11月30日

*1 租税公課は工場生産設備の固定資産税自動車税等である。

左に同じ

*2 該当なし

減価償却費 19,707千円の内税法改正に伴う耐用年数の改定による償却増加額は 2,116 千円である。

左に同じ

*3 仕掛品とは養命酒醪，原料酒精醪，原料味淋醪をいう。

*4 半製品とは原料酒精，養命酒タンク入焼ちゆうタンク入，原料味淋をいう。

左に同じ

(3) 剰余金計算書

利 益 剰 余 金 の 部						
期 別 科 目	第 42 期 (34.12. 1 ~ 35.11.30)			第 43 期 (35.12. 1 ~ 36.11.30)		
	金	額		金	額	
I 利益準備金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
1 前期期末残高		88,000			94,000	
2 前期繰入額		6,000			9,000	
3 当期期末残高			94,000			103,000
II 任意積立金						
(1) 退職給与積立金						
1 前期期末残高	89,404			87,814		
2 前期繰入額	6,000			8,000		
3 当期処分額	7,590			—		
4 当期期末残高		87,814			95,814	
(2) 別途積立金						
1 前期期末残高	288,000			300,000		
2 前期繰入額	12,000			15,000		
3 当期期末残高		300,000			315,000	
任意積立金合計			387,814			410,814
III 未処分利益剰余金						
(1) 前期未処分利益剰余金		130,288			190,754	
(2) 前期利益剰余金処分額						
1 利益準備金	6,000			9,000		
2 税金	41,000			80,000		
3 配当金	46,872			58,925		
4 役員賞与金	3,000			4,000		
5 任意積立金						
退職給与積立金	6,000			8,000		
別途積立金	12,000	114,872		15,000	174,925	
繰越利益剰余金		15,416			15,829	
(3) 繰越利益剰余金増加額						
1 固定資産売却益 * 1	903			236		
2 退職給与積立金戻入	7,590			—		

科 目	期 別	第 42 期 (34.12. 1 ~ 35.11.30)			第 43 期 (35.12. 1 ~ 36.11.30)		
		金 額			金 額		
3 前期損益修正 * 2		千円 233	千円	千円	千円 —	千円	千円
4 価格変動準備金戻り		—	8,726		18,000	18,236	
(4) 繰越利益剰余金減少額							
1 固定資産売却損 * 3		672			1,330		
2 固定資産廃棄損 * 4		187			1,740		
3 価格変動準備金繰入		9,000			17,200		
4 機械装置解体費 * 5		—			5,035		
5 前期損益修正 * 6		—	9,859		3,205	28,510	
繰越利益剰余金期末残高			14,283			5,555	
(5) 当期純利益			176,471			233,383	
当期末処分利益剰余金				190,754			238,938
資 本 剰 余 金 の 部							
I 資 本 準 備 金							
1 前期期末残高			33,600			33,600	
2 当期発生額			0			0	
3 当期処分額			0			0	
4 当期期末残高			33,600	33,600		33,600	33,600
II 再 評 価 積 立 金							
1 前期期末残高			7,558			7,473	
2 当期発生額			0			0	
3 当期処分額 * 7			85			84	
4 当期期末残高			7,473	7,473		7,389	7,389
次期繰越資本剰余金				41,073			40,989

脚 注

- 自昭和34年12月1日至昭和35年11月30日
- *1 固定資産売却益の内容は次の通りである。
- | | | |
|---------|------|-------|
| 水圧圧搾機 | 1式 | 302千円 |
| 古ドラム缶 | 189本 | 314 |
| 日産貨物自動車 | 1台 | 75 |
| プリンス乗用車 | 3台 | 200 |
| ビュック乗用車 | 1台 | 12 |
| 合 計 | | 903千円 |
- *2 前期損益修正は次の通りである。
- | | |
|------------------|-------|
| 既往年分売上歩引の誤り支払分戻入 | 200千円 |
| 既往年分法人事業税入 | 25 |
| 自動車税入 | 8 |
| 合 計 | 233千円 |
- *3 固定資産売却損の内容は次のとおりである。
- | | | |
|---------|----|-------|
| 小型宣伝車 | 4台 | 534千円 |
| 小型貨物自動車 | 1台 | 56 |
| 大型貨物自動車 | 1台 | 48 |
| 自動二輪車 | 3台 | 34 |
| 合 計 | | 672千円 |
- *4 固定資産廃棄損の内容は次の通りである。
- | | |
|----------------|-------|
| 第1工場作業場取壊し損 | 121千円 |
| 木桶14本使用不能による廃棄 | 66 |
| 合 計 | 187千円 |
- *5 該当なし
- *6 該当なし

- 自昭和35年12月1日至昭和36年11月30日
- 固定資産売却益の内容は次の通りである。
- | | | |
|------------|----|-------|
| 第2工場建物(住宅) | 3棟 | 123千円 |
| 水圧圧搾機 | 1式 | 113 |
| 合 計 | | 236千円 |

該当なし

- 固定資産売却損の内容は次の通りである。
- | | | |
|-----------|----|---------|
| 宣 伝 車 | 6台 | 977千円 |
| 普 通 乗 用 車 | 1台 | 276 |
| 大型貨物自動車 | 1台 | 62 |
| 自 動 二 輪 車 | 1台 | 15 |
| 合 計 | | 1,330千円 |
- 固定資産廃棄損の内容は次の通りである。
- | | |
|------------------|---------|
| 本店の木造倉庫老朽の為め取壊損 | 113千円 |
| 自動二輪車使用不能による廃棄 | 113 |
| 第2工場粕取機使用不能による廃棄 | 1,514 |
| 合 計 | 1,740千円 |
- 機械装置解体費は長野県岡谷市第2工場にあるアルコール製造設備を埼玉県入間郡鶴ヶ島村第3工場に移設に際し要したる解体費用である。
- 前期損益修正は次の通りである。

丸元産業株式会社より賃借している土地及び建物の賃借契約更改による値上り分である。
(自昭和35年1月—至昭和35年11月)間処分額の内容は次の通りである。

* 7 処分額の内容は次の通りである。

再 評 価 税

85千円

再 評 価 税

84千円

(4) 剰余金処分計算書

科 目	36. 1.31		37. 1.31	
	金	額	金	額
I 当期末処分利益剰余金	千円	千円	千円	千円
1 繰越利益剰余金期末残高	14,283		4,755	
2 当期純利益	176,471		234,183	
合 計		190,754		238,938
II 利益剰余金処分額				
1 利益剰余金	9,000		12,000	
2 税 金	80,000		100,000	
3 配 当 金	58,925		66,290	
4 役員賞与金	4,000		6,000	
5 任意積立金				
1) 退職給与積立金	8,000		12,000	
2) 別途積立金	15,000	174,925	26,000	222,290
III 次期繰越利益剰余金		15,829		16,648

(5) 付属明細表

1 有価証券明細表

株	銘	柄	1株の金額	株	数	取得価格	貸借対照表 計上額	摘	要								
				円	株	千円	千円										
式	三	菱	信	託	銀	行(株)	50	240,000	12,435	12,435							
	(株)	埼	玉	銀	行		50	30,000	1,500	1,500							
	(株)	八	十	二	銀	行	50	4,000	180	180							
	日	本	通	運	(株)		100	3,373	310	310							
	計					277,373	14,425	14,425	流動資産中有価証券								
	赤	穂	味	噌	製	造	株	式	会	社	500	10,000	2,750	2,750			
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	物	産	株	式	会	社	500	5,000		2,500	2,500
	(株)	南	信	州	新	聞	社	10,000	30	300	300						
	(株)	長	野	県	工	業	倶	楽	部	500	400	200	200				
	岡	谷	観	光	株	式	会	社	1,000	10	10	10					
(株)	大	和	薬	品	商	会	50	100	5	5							
(株)	松	風	亭			10,000	30	300	300								
計					15,570	6,065	6,065	投資有価証券									
その 他の 有価 証券	種	類	取		得	価	格	貸借対照表 計上額	摘	要							
	割	引	長	期	信	用	債	券	千円 941	千円 941	流動資産中有価証券						
	鉄	道	債	券			99	99									
	割	引	電	話	債	券	650	650									
計						749	749	投資有価証券									

注 評価基準、取得価格及び貸借対照表計上額は、移動平均法による原価法に基いて評価してある。

2 有形固定資産明細表

資 産 の 種 類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却 引当金	差 引 期末残高	摘 要
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
建 物	125,310	71,260	3,586	192,984	42,167	150,817	
構 築 物	12,296	31,477	—	43,773	8,148	35,625	
機 械 及 び 装 置	158,420	47,579	1,254	204,745	109,943	94,802	
車 輻 及 び 運 搬 具	26,664	11,492	9,218	28,938	13,085	15,853	
工 具 器 具 及 び 備 品	23,587	5,026	243	28,370	17,051	11,319	
土 地	64,056	39,575	—	103,631	—	103,631	
建 設 仮 勘 定	13,074	185,152	176,895	21,331	—	21,331	
計	423,407	391,561	191,196	623,772	190,394	433,378	

増 減 理 由

主 な 増 加

建 物	第3工場に於ける事務所，工場建物及び付属設備の新設である。建物坪数1,825,582坪49,904千円，付属設備の金額12,893千円である。
構 築 物	第3工場に於ける廃液処理設備の新設18,144千円及び同工場内に於ける舗装道路の施工4,250千円である。
機 械 及 び 装 置	関西支店，第2工場，第3工場に於けるぶどう糖製造機械及び蒸りゆう酒製造機械購入。
車 輻 及 び 運 搬 具	乗用車3台5,559千円，貨物自動車6台4,634千円，自動二輪車2台250千円。
工 具 器 具 及 び 備 品	第3工場の新設に伴う備品2,403千円の購入である。
土 地	工場及び事務所敷地3,730.51坪27,524千円，社宅敷地780.24坪12,051千円である。
建 築 仮 勘 定	第3工場建設工事代及び本店，関西支店，第2工場に於ける土地，家屋購入等である。

主 な 減 少

建 物	本店及び第2工場に於ける老朽木造倉庫及び住宅取壊し並びに売却
機 械 及 び 装 置	関西支店，第2工場に於ける使用不能機械売却
車 輻 及 び 運 搬 具	乗用車2台1,772千円，貨物自動車7台6,598千円，自動三輪車1台545千円 自動二輪車2台303千円売却

3 無形固定資産明細表

資 産 の 種 類	取得原価	当 期 増加額	当 期 減少額	減価償却 累 計 額	期 末 現在高	摘 要
	千円	千円	千円	千円	千円	
借 地 権	2,037	—	—	—	2,037	
電 話 加 入 権	1,314	10	—	—	1,324	
電気供給施設利用権	1,526	—	—	109	1,417	
公 共 施 設 利 用 権	1,248	—	—	1,248	0	
合 計	6,125	10	—	1,357	4,778	本店電話1本架設による増 第3工場配電工事費負担金 酒造会館に関する負担金

4 関係会社有価証券明細表

株 式	株 銘 柄	1株 の 金額	前 期 繰 越 高			当 期 増加額		当 期 減少額		期 末 残 高			摘 要
			株 数	取 得 価 格	貸借対照 表計上額	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	取 得 価 格	貸借対照 表計上額	
	南海農産化工株式会社	円 50	株 128,800	千円 6,440	千円 6,440	株 —	千円 —	株 —	千円 —	株 128,800	千円 6,440	千円 6,440	取得価格及び 貸借対照表計 上額は移動平 均法による原 価法に基いて いる。
	ライナービヤ-株式会社	500	136,400	68,200	68,200	—	—	—	—	136,400	68,200	68,200	
	株式会 社 飛 龍	500	97,100	48,550	48,550	—	—	—	—	97,100	48,550	48,550	
	合 計		362,300	123,190	123,190	—	—	—	—	362,300	123,190	123,190	

- 注 1 南海農産化工(株)資本金10,000千円(発行済株式総数200,000株)，同社はでん粉製造会社で同社の製造するでん粉を当社が買付けている。
- 2 ライナービヤ- (株)資本金80,000千円(発行済株式総数160,000株)，同社は，発泡酒ライナービヤ-の製造販売会社で当社が原料酒精を提供している。

3 (株)飛龍会資本金 50,000 千円 (発行済株式総数 100,000 株), 同社は有価証券の所有, 不動産の所有及び利用管理を営む。なお同社代表取締役には当社常務取締役がなっている。

5 関係会社出資金明細表
該当事項なし

6 関係会社貸付金明細表

関係会社名	当 期 繰越高	当 期 増加額	当 期 減少額	期末残高	摘 要
株式会社 飛 龍 会	千円 247,200	千円 51,000	千円 61,200	千円 237,000	日歩 2.2 銭返済期日 昭和38年 1 月20日運 転資金である。
ライナービヤ-株式会社	89,972	65,800	6,653	149,119	日歩 2.2 銭返済期日 昭和40年11月30日運 転資金である。
南海農産化工株式会社	3,000	—	2,000	1,000	日歩 2.2 銭返済期日 昭和38年 9 月30日運 転資金である。
合 計	340,172	116,800	69,853	387,119	

注 上記は何れも長期貸付金である。

7 社 債 明 細 表
該 当 な し

8 長期借入金明細表

借 入 先	前 期 繰越高	当 期 増加額	当 期 減少額	期末残高	摘 要
三 菱 信 託 銀 行 (株)	千円 104,000	千円 —	千円 24,000	千円 80,000	日歩 2.6 銭運転資金として借入, 返済期 日昭和39年11月30日, 本店土地建物を担 保差入
〃	20,000	8,000	—	28,000	日歩 2.6 銭第 3 工場廃液処理設備 建設資 金として借入, 返済期日昭和38年12月31 日
〃	—	75,000	—	75,000	日歩 2.6 銭 第 3 工場建設資金 として 借 入, 返済期日昭和41年12月31日
合 計	124,000	83,000	24,000	183,000	

9 関係会社借入金明細表
該当事項なし

10 資 本 金 明 細 表

既 発 行 株 式	銘 柄		発 行 数	券面又は1株 の発行価額及 び資本組入額	券面額又は 資本組入総額	上場取引所名	摘 要
	額株	養命酒製造株式会社	株 7,365,600	円 50	千円 368,280	東京証券取引所 名古屋証券取引所	
	面式	小 計	7,365,600		368,280		
	無株		0		0		
	額面式	小 計	0		0		
資 本 の 額				368,280 千円			
準備金の資本組入	資 本 組 入 額			摘 要			
	14,000千円			関係会社所有株数 株式会社 飛 竜 会 1,830,900株 南海農産化工株式会社 9,644株			
	計 14,000千円			昭和27年7月1日、第1次再評価積立金11,467千円の内 8,000千円を資本に組入れて160,000株無償交付した。 昭和29年10月1日、第3次再評価積立金10,881千円の内 6,000千円を資本に組入れて120,000株無償交付した。			

注 株 式 配 当

1 昭和 32 年 1 月 30 日開催の株主総会に於て, 配当 3 割 6 分のうち 2 割が株式をもつて配当する事が可
決され, 新株式 80 万株(4 千万円)が発行された。

- 2 昭和33年1月30日開催の株主総会に於て、配当3割のうち2割が株式をもつて配当する事が可決され、新株式96万株(4千8百万円)が発行された。
- 3 昭和34年1月30日開催の株主総会に於て、配当2割4分のうち1割2分が株式をもつて配当する事が可決され、新株式696千株(3千4百8拾万円)が発行された。
- 4 昭和35年1月30日開催の株主総会に於て配当1割4分のうち1割が株式をもつて配当する事が可決され、新株式669,6百株(3千3百4拾8万円)が発行された。

11 減価償却費明細表

資 産 の 種 類	取得原価	当 期 償却額	償却額累計	当期末 残 高	償 却 累計率	償却方法	償却範囲額に 対する過不足	
							当期分	累 計
建 物	千円 192,984	千円 7,640	千円 42,167	千円 150,817	% 21.85	定 率 法	△ 50	△ 37
構 築 物	43,773	1,316	8,148	35,625	18.61	〃	△ 12	5
機 械 及 び 装 置	204,745	12,151	109,943	94,802	53.69	〃	△ 60	994
車 輛 及 び そ の 他 の 陸 上 運 搬 具	28,938	5,080	13,085	15,853	45.22	〃	42	△ 43
工 具 器 具 及 び 備 品	28,370	2,861	17,051	11,319	60.10	〃	24	38
公 共 施 設 利 用 権	193	193		0		定 額 法		
電 気 供 給 施 設 利 用 権	1,518	101		1,417		〃		
計	500,521	29,342	190,394	309,833			△ 56	△ 1,031

注 △印は償却不足を示す。

当期の償却範囲額には右記の割増償却額を含む(租税特別措置法46条適用)建物852千円尚、当期償却額29,342千円の内税法改正に伴う耐用年数改定による償却増加額2,526千円である。

(2) 主な資産、負債及び収支の内容

(1) 流動資産の内訳

1 現金、預金明細

(昭和36年11月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	千円 475	定 期 預 金	214,510
座 落 預 金	1,435	通 知 預 金	46,833
普 通 預 貯 金	89,841		
振 替 預 貯 金	58	合 計	353,152

2 棚卸資産

(1) 製品

品 名	数 量	金 額
養 命 酒	312,256.84立	千円 66,496
焼 酎 (25%)	19,730.16	1,416
葡 萄 糖	15,800.00	843
副 産 物	10,998.00疋	339
ラ イ ナ ビ ヤ	4,099.32立	638
合 計		69,732

注 棚卸方法 帳簿棚卸と実地棚卸とを併用
評価基準 移動平均原価法による低価法
(2) 半製品

品 名	数 量	金 額
養 命 酒 (タンク入)	124,661立	千円 9,734
焼 酎 (タンク入)	34,674	1,204
原 料 酒 精	178,511	20,257
原 料 味 淋	7,481	908
合 計		32,103

注 棚卸方法 帳簿棚卸と実地棚卸とを併用

評価基準 移動平均原価法による低価法
(3) 原材料

品名	数量	金額
米 蜀黍 及 び 類	51,827 疋	千円 1,475
玉 甘 及 び 類	9,005	243
で ん 粉 及 び 類	1,173,285	9,335
薬 反 鼻 及 び 類	72,813	2,284
ぶ 鼻 及 び 類	1,773	354
合 計	44,315	18,352
	46,840 立	4,061
		36,104

注 棚卸方法 帳簿棚卸と実地棚卸を併用
評価基準 移動平均原価法による低価法
(4) 仕掛品

品名	数量	金額
養 命 酒 類	立 413,052	千円 30,972
原 料 酒 類	648,708	4,256
原 料 味 類	83,385	8,016
合 計		43,244

注 棚卸方法 帳簿棚卸と実地棚卸を併用
評価基準 移動平均原価法による低価法
(5) 貯蔵品

品名	数量	金額
燃 包 容 合 計	石炭 173,320 K他 ラベル包装紙段ボール等 空瓶 452,539 本他	千円 1,138 25,986 7,459 34,583

2 受取手形及び売掛金の状況

(1) 受取手形業種別金額

業種別	氏名	金額
薬 品 卸 業	大 木 製 薬(株)他	千円 52,340
酒 類 卸 業	北 海 道 酒 類 販 売(株)他	78,411
合 計		130,751

(2) 受取手形期日別残高

期 日 別	金 額	期 日 別	金 額
26 年 12 月 期 日	千円 20,345	37 年 3 月 期 日	千円 22,878
37 年 1 月 〃	22,015	〃 4 月 〃	2,035
〃 2 月 〃	63,478	合 計	130,751

(3) 割引手形期日別残高

期 日 別	金 額	期 日 別	金 額
36 年 12 月 期 日	千円 152,366	37 年 2 月 期 日	千円 30,497
37 年 1 月 〃	96,780	合 計	279,643

(4) 売掛金及び関係会社売掛金

1 売 掛 金

製	品	別	業	種	別	店	名	金	額		
養	命	酒	薬	品	卸	業	大	木	製	薬(株)	千円
							小	林	製	薬(株)	3,475
							(株)小	林	大	薬房	2,903
							丹	平	商	事(株)	2,675
							六	合	薬	品(株)	2,052
							そ		の	他	1,071
							(株)中	埜	酢	店名古	6,285
							(株)明		治	屋支店	5,864
							(株)松		下	店	5,026
							(株)祭		原	商店	3,551
焼	ち	ゆ	酒	類	卸	業	(株)小	網	商	店	3,516
							(株)中	塚	商	店	2,643
							そ		の	他	2,494
							長	野	県	酒類卸	22,984
							阪	急	食	協同組	4,247
							喜	久	水	合品(株)	3,414
										他	2,318
										他	
										他	
										他	
合									74,518		

2 関係会社売掛金

29,789 千円は、ライナービヤ株式会社に対する添加用酒精代で同社が使用する添加用酒精は全部当社から購入している。

売掛金滞溜及び回収状況

前 期 繰 越 高	当 期 発 生 高	当 期 回 収 高	当 期 残 高	回 収 率
千円 145,163	千円 1,621,509	千円 1,662,365	千円 104,307	% 94

注 当期発生高 1,621,509 千円と P L の売上高 1,622,297 千円との差額 788 千円は現金売である。

4 前渡金及び関係会社前渡金

(1) 前 渡 金 内 訳

内 訳	金 額	摘 要
原 料 代	千円 11,156	埼玉県米穀協同組合他 4

注 原材料及び貯蔵品仕入に対する前渡金であつて、利子、期限、担保何れもない。

(2) 関係会社前渡金 20,632 千円は、南海農産化工株式会社に対するでん粉代にして同社の製造するでん粉は全部当社のぶどう糖原料として購入している。

5 前 払 費 用

種 別	金 額
未 経 過	千円 6,910
〃	2,047
〃	1,497
〃	72
〃	22
〃	1
〃	321
合 計	10,870

注 未経過法定福利費とは、労働者災害補償保険料の前払分である。

6 その他流動資産

(7) 役員、従業員に対する短期債権

種 別	内 容	金 額	摘 要			
			利 子	期 限	担	保
従 業 員 貸 付 金 合 計	家屋建築資金 団体生命保険料	千円 2,213	日歩2銭2厘	37.11.30		
		1,048	な し	37. 9.30		
		3,261				

(2) 関係会社に対するその他の債権

種 別	金 額	摘 要
(株)飛 龍 会	千円 68,715	
ライナービヤ(株)	8,838	
南海農産化工(株)	13	
合 計	77,566	

(3) 短期貸付金

種 別	内 容	金 額	摘 要			
			利 子	期 限	担	保
昆 貞 治 内 野 貞 雄 工 藤 印 刷 大 和 組 他 合 計	事 業 資 金 〃 〃 〃 〃	千円 5,000	日歩 2.2銭	37.11.30		
		469	〃 2.3銭	37.11.30		
		3,000	〃 2.7銭			
		2,410	〃 2.3銭	36.12.31		
		10,879				

注 相手先は、得意先関係の貸付金である。

(4) 未 収 入 金

種 別	金 額	摘 要
日 本 硝 子(株)他 長野県酒卸協組伊那出張所他 従 業 員 合 計	千円 120	不良空瓶等返品代金
	168	出資金に対する配当金外
	10	貸付金に対する利息
	298	

(5) 法入税等仮払金

内 容	金 額
第 43 期(35.12. 1~36.11.30) 法 人 税 予 定 申 告 分	千円 31,819
第 43 期(35.12. 1~36.11.30) 住 民 税 予 定 申 告 分	4,740
合 計	36,559

(6) その他の資産

種 別	金 額	摘 要
昆 貞 治 従業員出張旅費前渡金 高島平介商店他15件 合 計	千円 6,600	焼酎販路拡張の為の一時立替金
	74	
	2,621	立替運賃他
	9,925	

(2) 建設並びに投資の状況

1 建設仮勘定の内訳

種 別	金 額	摘 要
第 2 工 場 建 物	千円 3,261	
倉 庫	2,346	
瓶 詰 機	1,800	
第 3 工 場 建 物	7,512	
廃 熱 回 収 設 備	1,180	
社 会 の 宅 他	5,025	
合 計	207 21,331	

2 投資内訳
(1) 出資金

種 別	金 額	摘 要
長野県酒類卸協同組合	千円 1,760	
赤穂信用金庫	100	
東山商店	50	
合 計	1,910	

(2) 長期貸付金

種 別	金 額	摘 要
赤穂味噌製造(株)	千円 11,000	日歩2.2銭 期日昭和38年3月29日

(3) 役員、従業員に対する長期貸付金

種 別	金 額	摘 要
従業員貸付金	千円 8,170	日歩2銭 期日昭和40年12月31日 土地等購入資金

(4) その他の投資

種 別	金 額	摘 要
貸付信託	千円 1,000	三菱信託銀行(株) 満期日昭和40年8月20日
指定金銭信託	3,229	〃 満期日昭和38年7月31日
差入保証金		
丸元産業(株)	25,050	土地家屋賃借敷金(本店、関西支店及び第2工場)
樋口文平	220	〃 (仙台出張所)
美ヶ原カントリー倶楽部	300	25,570 入会保証金
退職給与引当保険料		14,979 日産生命保険払込金
合 計		44,778

(3) 繰延勘定
前払費用

種 別	金 額
未経過アルコール規制数量譲受代	千円 971

注 協和醸造工業(株)より彼比融通乙による規制数量譲受代

(4) 流動負債

1 支払手形

(1) 業種別金額

業 種 別	氏 名	金 額
製 材 業	田 島 木 材(株)	千円 1,461
燃 料 商	出 光 興 産(株)他 2店	1,872

(2) 支払手形期日別残額

2 買掛金

3 短期借入金

4 未 弘 金

— 149 —

5 未払酒税

納付先					金額
伊	那	税	務	署	千円
誠	訪	税	務	署	1
合				計	51,999
					52,000

6 未払費用

種別	金額	種別	金額
歩引	千円	宣	千円
従業員賞与	44,563	保	3,010
運賃	20,388	厚	18
割引	2,086	生	16
利息料	1,414		
	3	合	計
			71,468

注 1 歩引とは養命酒売上に対する割戻であつて毎月20日締切、毎年6月と12月に支払うものである。
 2 従業員賞与は当期分(36.6.1~36.11.30)である。

4 預り金

区分	金額	区分	金額
所得税預り分	千円	社会保険料預り分	千円
住民税預り分	698	合	102
	206		1,006

8 預り保証金

相手先	金額	相手先	金額
大玉製薬(株)	千円	稻垣興生堂	千円
小林製薬(株)	2,152	(株)小林立大薬房	129
六合薬品(株)	2,160	平野隆盛堂	968
(株)中田清兵衛商店	671	小林製薬(株)大阪支店	1,092
日本村成光商店	2,171	日進薬品(株)	835
西林貞一商事	245	日本薬業(株)大阪支社	127
川マ林	1,087	大丹黒南海堂	1,260
	370	丸平元産業(株)	26
	416		614
	267	合	計
	104		16,387
	193		

9 その他の流動負債

相手先	金額
従業員預り金	千円
	24,422

(5) 収支の内訳
1 雑収入内訳

内容	金額
作業屑等の売却	千円
作	1,185
そ	2,994
合	4,179

2 雑損内訳

内容	金額
包装資材の規格変更及び破損による除却損	千円
そ	3,404
合	1,179
	4,583

(3) そ の 他

(1) 最近の金繰実績- 1

区 分	月 別	35年12月	36年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
前 月 繰 越 高		千円 384,783	千円 352,298	千円 410,644	千円 345,652	千円 368,572	千円 391,324
収 入							
営 業 収 入							
現 金 引 取 手		32,903	26,644	26,802	34,323	24,880	36,299
割 引		90,861	100,861	83,532	114,367	80,755	130,954
そ の 入		27,037	11,488	29,168	17,221	16,860	12,518
借 入		111,000	216,000	357,000	164,000	257,000	154,000
合 計		261,801	354,993	496,502	329,011	379,495	333,771
支 出							
原 材 料 費		48,263	21,062	22,961	19,899	8,306	40,971
人 件 費		22,634	8,896	10,033	12,107	11,025	9,891
経 費		74,944	38,145	26,302	36,935	15,449	45,407
設 備 費		7,118	3,045	7,593	8,525	7,437	18,249
借 入 金 返 済		74,000	150,000	387,000	172,000	266,000	175,000
酒 の 他 の 税 金		20,271	19,830	20,553	18,526	15,800	19,618
そ の 当 の 金 他		759	31,512	633	983	5,911	24,060
配 当		2	1	51,936	6,515	92	28
そ の 他		46,295	24,156	34,483	41,501	26,723	40,228
合 計		294,286	296,647	561,494	306,991	356,743	373,452
翌 月 繰 越 高		352,298	410,644	346,652	368,572	391,324	351,643

(1) 最近の金繰実績- 2

区 分	月 別	36年 6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	合 計
前 月 繰 越 高		千円 351,643	千円 356,838	千円 323,350	千円 305,037	千円 340,155	千円 310,762	千円 384,783
収 入								
営 業 収 入								
現 金 引 取 手		29,950	27,142	22,542	27,747	30,412	23,224	342,868
割 引		125,105	87,995	97,049	120,720	117,934	87,746	1,237,879
そ の 入		10,122	12,118	15,133	11,548	9,233	61,596	234,042
借 入		239,000	82,000	293,000	69,000	98,000	349,000	2,389,000
合 計		404,177	209,255	427,724	229,015	255,579	521,566	4,203,789
支 出								
原 材 料 費		18,573	21,540	31,603	22,725	37,426	39,005	332,334
人 件 費		24,389	10,366	8,868	8,477	10,645	11,188	148,519
経 費		36,932	74,334	27,800	32,630	37,196	26,185	472,259
設 備 費		18,160	14,229	16,812	31,677	12,847	21,155	166,847
借 入 金 返 済		297,000	61,000	315,000	50,000	106,000	333,000	2,356,000
酒 の 他 の 税 金		21,673	19,157	18,643	26,809	23,107	20,229	244,216
そ の 当 の 金 他		193	24,915	110	54	22,604	74	111,808
配 当		15	21	3	20	7	4	58,644
そ の 他		12,047	17,181	27,198	21,505	35,140	28,336	344,793
合 計		398,982	242,743	446,037	193,897	284,972	479,176	4,235,420
翌 月 繰 越 高		356,838	323,350	305,037	340,155	310,762	353,152	353,152

(2) 今後の資金計画、過不足及び調達方法

月 別					38年12月	37年1月	2月	3月	4月	5月	計
区 分					千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
前 月 繰 越 高					353,152	317,378	358,697	312,700	323,500	342,000	353,152
収 入											
営 業 収 入					26,633	28,897	27,870	27,000	28,000	23,000	161,400
現 金 引 手					126,790	139,794	141,380	125,000	120,000	116,000	768,964
そ の 入					3,077	9,989	2,000	2,800	2,500	2,500	15,866
借 入					228,000	220,000	284,000	147,000	140,000	133,000	1,152,000
合 計					384,500	391,680	455,250	301,800	290,500	274,500	2,098,230
経 出											
原 材 料 費					54,993	72,437	58,930	40,000	30,000	30,000	286,360
人 件 費					22,650	10,250	10,300	10,300	11,400	11,400	76,300
経 費					50,900	39,598	28,000	30,000	30,000	30,000	208,498
設 備 費					35,621	9,584	37,500	14,000	13,000	13,000	122,705
借 入 金 返 済					179,000	125,000	273,000	159,000	116,000	151,000	1,003,000
酒 の 他 の 税					26,834	25,166	24,057	22,392	24,000	23,000	145,449
そ の 他 の 税 金					410	40,640	410	300	38,690	300	80,750
配 当 金							59,660	6,630			66,290
そ の 他					46,866	27,686	9,360	8,378	8,910	8,800	113,030
合 計					420,274	350,361	501,247	291,000	272,000	267,500	2,102,382
翌 月 繰 越 高					317,378	358,697	312,700	323,500	342,000	349,000	349,000

- 注 1 設備費の支出計画が多いのは、現在長野県岡谷市第2工場にある養命酒製造設備を工場隣接地（当社敷地）に増築し、養命酒の増産と共に、品質の向上、企業の合理化を計る為の建設費である。
- 2 配当率は本期1割8分である。